



# 京都府総合見本市会館 令和4年度事業報告 (概要)

令和5年6月

一般財団法人京都府総合見本市会館

# 事業報告 目次 (骨子)

---

1. 当期事業活動の概要
2. 事業運営の推移と法人経営の方向
3. 当期事業活動の内容
4. 当期主要事業の実施状況
5. 当期事業活動の実施状況

# 1 当期事業活動の概要

## (1) 概況



### 当期の国内外の情勢

#### ▶ 新型コロナウイルス感染症

##### 流行の波

- 令和4年1月からの第6波、令和4年7月からの第7波
- 令和4年10月から少なくとも令和5年5月までの第8波と収束せず

##### 政府や行政からの発出

- 「まん延防止等重点措置」に係る要請は令和3年3月21日まで
- 以降、行動制限は緩和

##### 展示会などイベントに関して

- 「無観客や開催自粛」から「最大5,000人収容50%」に緩和
- 人数上限や収容率など催事の開催制限は今年度を通じて実施
- 要請が残ったまま令和4年度末を迎えた

#### ▶ 社会経済の情勢

##### ロシアによるウクライナ侵攻

- 緊張関係を生じさせ世界の経済に大きく影響
- 天然ガス、原油などエネルギー価格の高騰や小麦等食料品価格上昇に拍車

##### 中国のコロナ感染による都市封鎖

- グローバルサプライチェーンに混乱

##### 日本の経済

- エネルギー価格上昇によって、電気やガスの料金が上昇
- 資源価格の高騰による消費者物価の上昇
- 円安の為替相場
- 人手不足など、経済活動の停滞感や景況の先行きへの警戒感が続いた

# 1 当期事業活動の概要

## (1) 概況

### 財団の事業運営

- これまでから社会経済情勢の影響を大きく受け、**相関の関係で推移**

### ▶ 当期の事業活動状況

#### 収入稼働率

- 催事開催制限なども相まって**年間「36.8%」**
- 令和2年度の14.9%令和3年度の27.6%から**やや改善**
- 平成28年度から令和元年度までの**「50%前後維持」には及ばない**

#### 事業収入の確保

- **感染防止を徹底した催事の誘致による使用料収入の確保**
- 今年度は**京都市の再起支援補助金の獲得**など

#### 徹底した事業支出の抑制

- エネルギー価格の高騰により**電気、ガスの使用料金が大幅に上昇**
- **委託料の見直し**などに努める
- 令和3年度決算と比較して**事業収入は伸び、事業支出もやや拡大**
- 収支差額は改善

### 新型コロナウイルス感染症の今後

- 政府は、令和5年5月8日から季節性インフルエンザと同じ**「5類」**に
- **催事開催にどのように影響するのか、状況を注視する必要**

### 不安定な国際情勢

- ウクライナ情勢など国際的な緊張、原油や穀物価格の高騰、円安の為替相場、**賃金や物価の上昇**など、国内外の社会経済情勢を常に注視することも重要

### 財団の当期の経営

- これまでから**特別な京都府の負担金や運営に係る補助を受けず、独立した自己の収支で、独自性と能率化を図る経営**
- **当期もこれを堅持する経営を持続**

### 財団の今後の事業運営

- 社会経済情勢と相関の関係にあって、引き続き難しい運営が見込まれる
- 動向を注視し、状況の変化に適時的確に対応しながら、**安定した経営を図ることが重要**

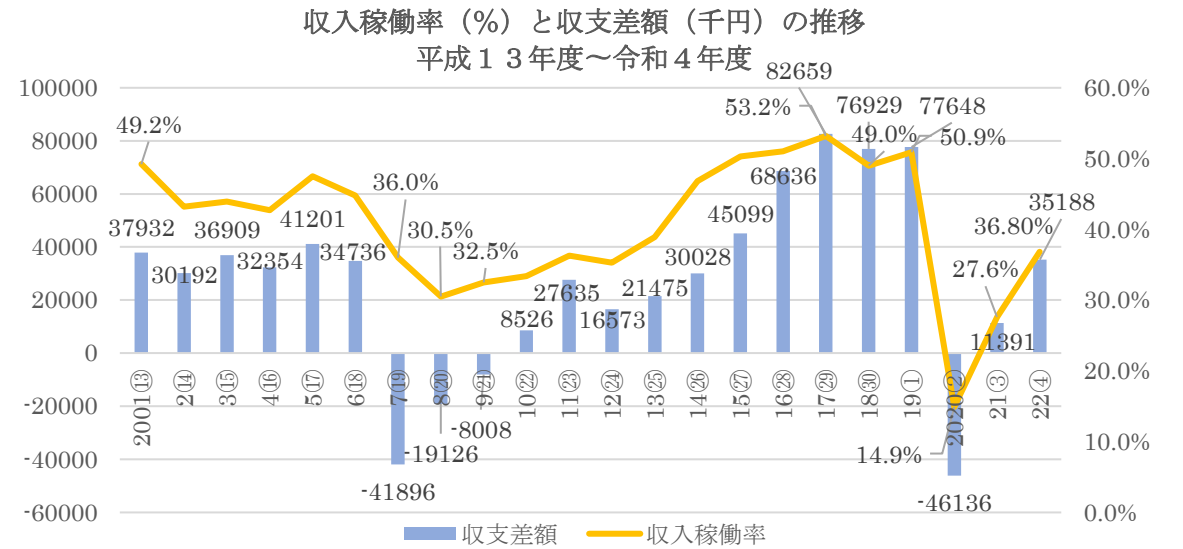
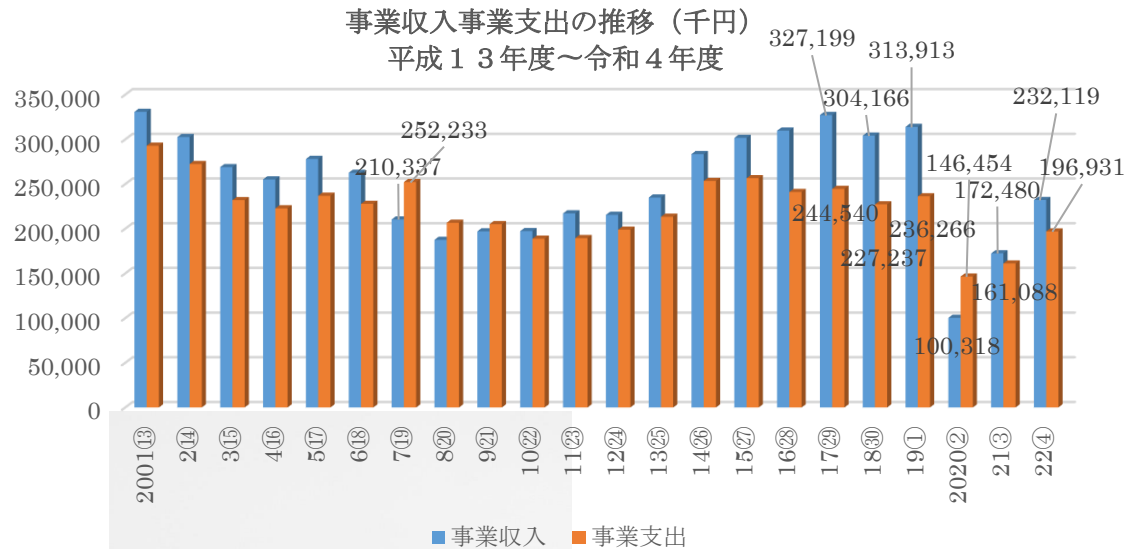
# 1 当期事業活動の概要

## (1) 概況 事業活動収入・支出 収支差額 収入稼働率の推移 (㊦法人化以降の推移)

年度	事業活動収入額		事業活動支出額		収支差額	収入稼働率
	(百万円)	前年度比	(百万円)	前年度比	(百万円)	(%)
<b>4</b>	<b>232.1</b>	<b>135%</b>	<b>196.9</b>	<b>122%</b>	<b>35.2</b>	<b>36.8</b>
3	172.5	172	161.1	110	11.4	27.6
2	100.3	32	146.5	62	△ 46.1	14.9
元	313.9	103	236.3	104	77.6	50.9
30	304.2	93	227.2	93	77.0	49.0
29	327.2	106	244.5	101	82.7	53.2
28	309.7	103	241.1	94	68.6	51.0
27	301.6	106	256.5	101	45.1	50.3
26	283.4	121	253.4	119	30.0	46.8
25	234.9	109	213.4	107	21.5	38.9

# 1 当期事業活動の概要

## (1) 概況





# 1 当期事業活動の概要

---

## (2) 施設の稼働状況

### ▶ 稼働状況は

- 行動制限も緩和されたこともあって徐々に回復傾向
- 使用料収入の大宗を占める展示場の収入稼働率は36.8%
- 前年度の27.6%からは改善
- 平成28年度から令和元年度までの50%前後には及ばない状況

### ▶ 当期は

- コロナ禍で利用を休止されたリピーターの3年ぶり催事開催
- 「基礎有機化学会」など新たな学会開催
- 「修学旅行探求発表会」など多人数の中で、人との距離を必要とする新たな形態の利用が出現するほか、感染予防対策を徹底した継続利用などが、会館利用の特徴的な例となる

## (3) 事業活動収入

### ▶ 事業活動収入は

- 対前年度比135%の約60百万円増加し232.1百万円
- 会場使用料収入が前年度から約43百万円増加
- 前年度から大きく改善

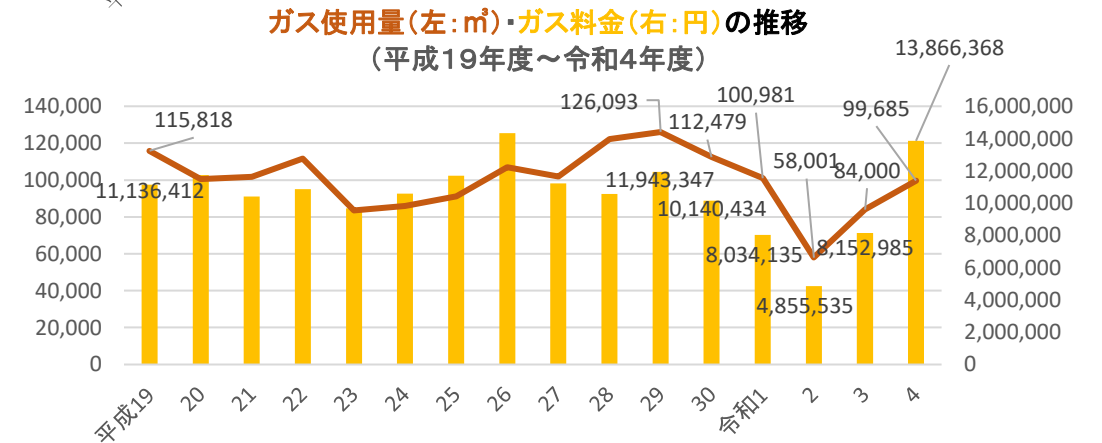
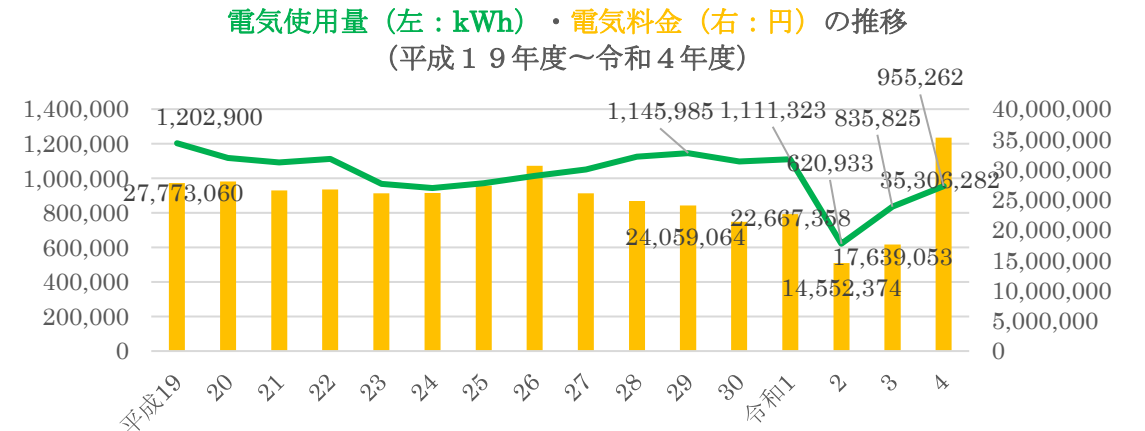
### ▶ これまでの「一時支援金」などに替わり、当期は

- 「京都市中小企業等総合支援補助金（10万円）」
  - 「京都市中小企業等物価高騰対策支援金（5万円）」
- の獲得に努めた

# 1 当期事業活動の概要

## (4) 事業活動支出

- ▶ **事業活動支出は、**
  - 対前年度比122%の約36百万円増加し196.9百万円
  - 前年度と比較して会館の利用が増加
- ▶ **例年と異なり際立った点**
  - 電気料金2倍、ガス料金1.7倍に上昇 光熱水費は大幅な増
- ▶ **事業収入に見合う事業支出の執行を基本**
  - 平時に比較して業務が減少する清掃・警備・設備に係る委託業務については、前年度と同様に業務量の調整を図る
  - 事業活動支出の抑制に努めた





# 1 当期事業活動の概要

---

## (5) 公益目的支出計画

- 公益目的支出は、産業・文化の振興に資する事業の執行や、京都産業の振興のための事業への参画・支援など
- 一部中止となったものの、共催・協賛の2事業に参画
- 公益目的支出計画に沿って16,957千円を執行
- 令和4年度末の公益目的財産残額の実績は729,211千円
- 令和4年度末計画値の765,372千円を先行する状況



## (6) 当期収支差額及び正味財産期末残高

- 当期の収支差額は35,188千円
- 昨年度の11,391千円から大きく改善
- 企業会計の「純利益」に相当する当期一般正味財産増減額も33,166千円となる
- 結果、令和4年度末の一般正味財産期末残高は、1,224,306千円  
正味財産は、指定正味財産263,770千円と合わせ1,488,076千円となる

## 2 事業運営の推移と法人経営の方向

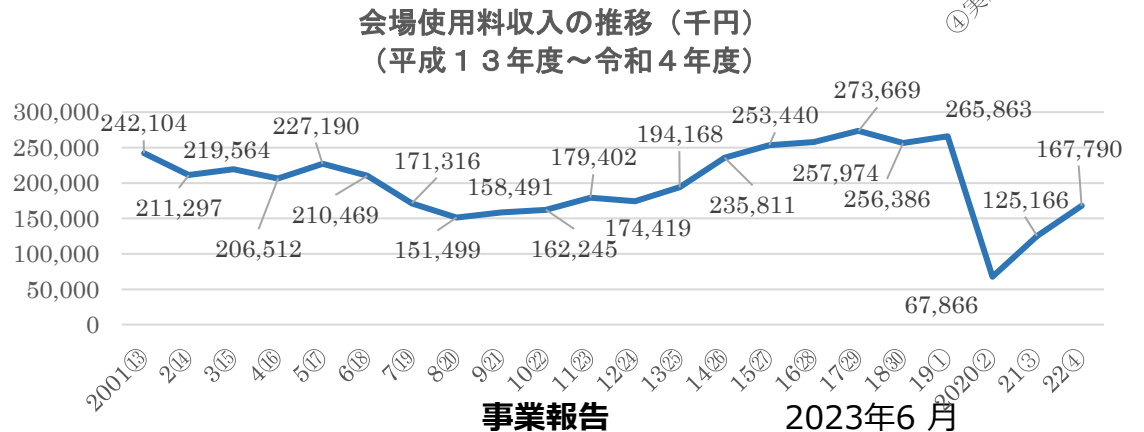
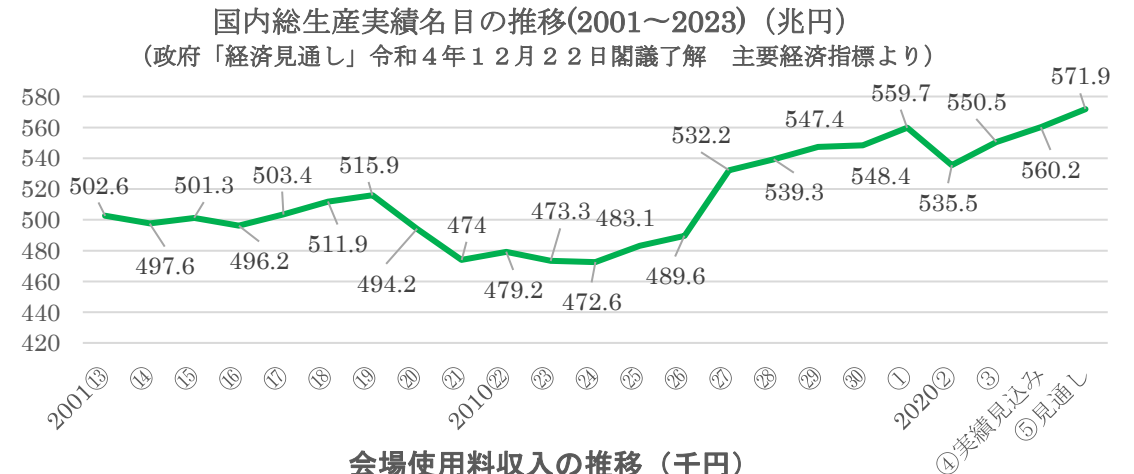
### (1) 事業運営の推移

- 平成15年度以降は京都府からの補助金や交付金等も受けず、大規模な展示や会議等の会場として、京都産業の進展に貢献

### (2) 法人経営の方向

- 当会館の運営は、**景気動向、自然災害、感染症の流行など、社会経済情勢**の影響を大きく受け、**関連の関係で推移**
- 平時から有事に備え、運用財産の蓄積など、強固な基盤を持つ法人経営を構築**しておくことが極めて重要

### 【参考】日本のGDPと会館使用料収入の相関関係



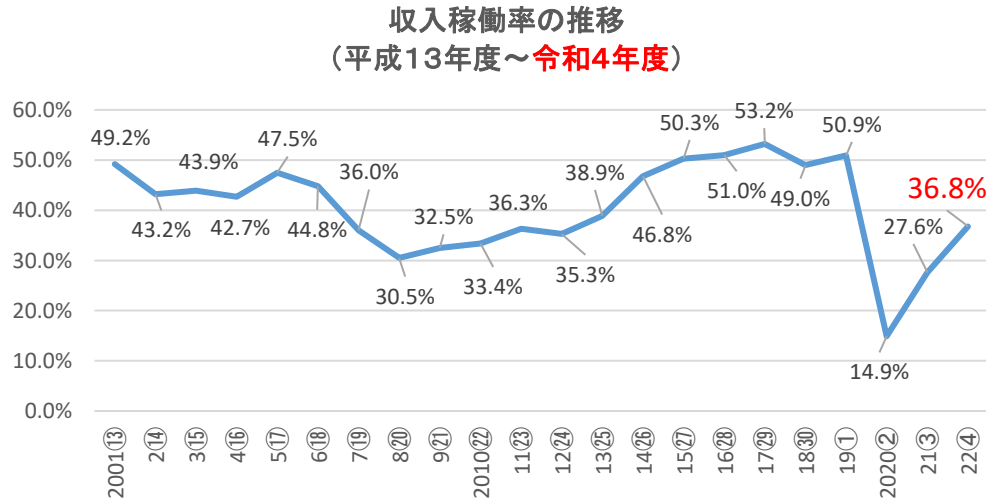
# 3 当期事業活動の内容

## (1) 稼働率と事業活動収入

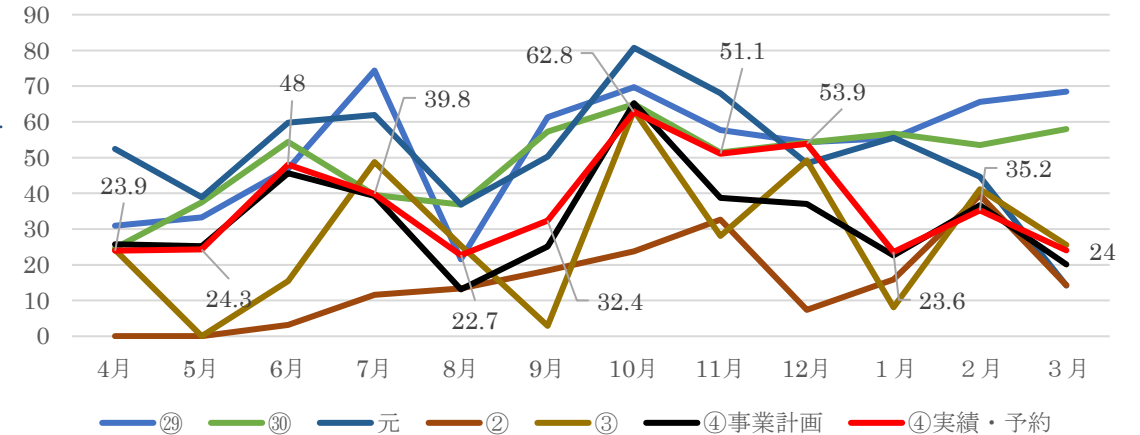
### ① 稼働率

**令和4年度 収入稼働率：36.8%**

【参考】令和4年度当初の「事業計画」における収入稼働率の目標：36%以上



月別収入稼働率 (%)  
(令和29年度～令和4年度)



【収入稼働率（第1・第2・大展示場の収入稼働率）】  
 $収入稼働率 = \frac{年間展示場使用料収入額}{(1日当たり展示場使用料総額 \times 開館日数)} \times 100$   
 ( ) ※印 令和4年度：@1,122千円（消費税込）/日×359日＝402,798千円

# 3 当期事業活動の内容

## (1) 稼働率と事業活動収入

### ▶ 新型コロナウイルス感染症関連

#### 予約・中止（キャンセル）の状況

#### 「会館の管理規則」

- 「既納の使用料は原則として返還しない」と定め
- 会場使用を中止される利用者に対し、  
感染症まん延防止への協力的な取組であることを踏まえ、  
前受金は全て返金の措置

	予約 件数	予約総額(A) (千円)	中止 件数	中止総額(B) (千円)	利用 件数	利用総額(A-B) (千円)
4年度	401	230,743	9	8,622	392	222,121
3年度	418	275,017	110	112,975	308	162,042
2年度	484	250,070	183	162,269	301	87,801

【参考】会場利用の推移 平成25年度（法人化）～令和4年度

年度		H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
利用件数	(件)	171	195	206	222	244	222	232	71	121	178
利用者数	(社)	121	123	136	141	161	147	150	51	85	130
会場使用料収入	(千円)	167,237	204,278	218,426	223,169	233,792	217,957	229,885	67,866	125,166	167,790
展示場使用料収入		149,619	185,144	199,286	201,794	210,419	193,695	203,837	59,926	111,372	148,052
その他会場使用料		17,618	19,134	19,140	21,375	23,373	24,262	26,048	7,940	13,794	19,738
備品使用料	(千円)	21,019	25,356	27,919	27,448	32,284	30,526	26,773	6,507	12,860	24,503
駐車場使用料	(千円)	2,117	2,369	2,464	2,589	2,568	2,420	3,125	725	1,227	1,756
光熱費・空調使用料	(千円)	31,956	38,793	37,706	40,392	41,406	36,983	36,070	12,328	22,203	27,117
収入稼働率	(%)	38.9	46.8	50.3	51.0	53.2	49.0	50.9	14.9	27.6	36.8
日数稼働率	(%)	38.7	42.5	45.9	45.8	47.7	43.5	45.5	14.1	25.5	33.5
全館来場者数	(人)	501,000	558,000	582,000	603,000	581,000	572,000	621,000	84,000	133,000	200,000

# 3 当期事業活動の内容

## (1) 稼働率と事業活動収入

### ② 事業活動収入

事業活動収入：232,119千円

(前年度から59,639千円増)

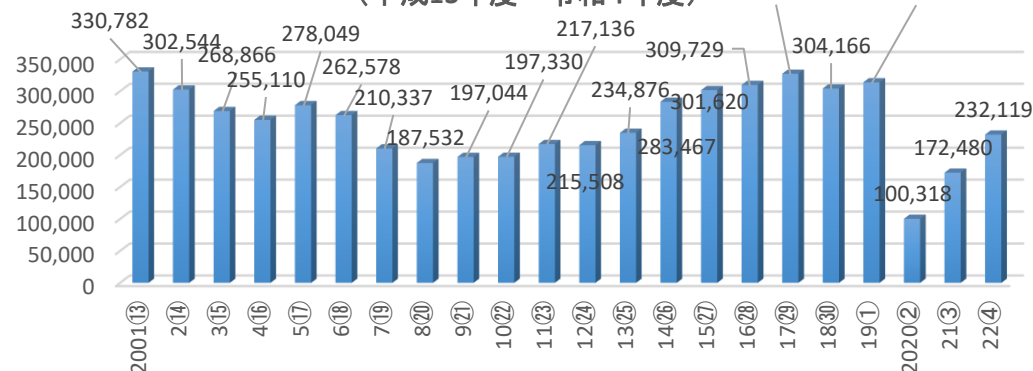
【参考】令和4年度支援金等【15万円】

- 京都市中小企業等総合支援補助金(10万円)
- 京都市中小企業等物価高騰対策支援金(5万円)

【参考】令和3年度政府支援金等【315万円】

- 一時支援金<令和3年1~3月分>60万円(経済産業省)
- 月次支援金80万円(経済産業省)
- 事業復活支援金150万円(経済産業省)
- 中小企業等再起支援補助金15万円(京都市)
- 中小企業等再起支援補助金<応援金>10万円(京都市)

事業活動収入の推移(千円)  
(平成13年度~令和4年度)



【参考】令和2年度政府支援金等【589.4万円】( )内数値は補助金上限額

- 持続化給付金 200万円(経済産業省)
- 雇用調整助成金①160.5万円②76.5万円(厚生労働省)
- 休業要請対象事業者支援給付金 20万円(京都府)
- 宿泊施設による感染防止支援等事業補助金 19.5万円(20)(府観光連盟)
- 中小企業等緊急支援補助金 29.1万円(30)(京都市)
- 安心安全なMICE支援補助金83.8万円(100)(京都文化交流コンベンションビューロー)

# 3 当期事業活動の内容

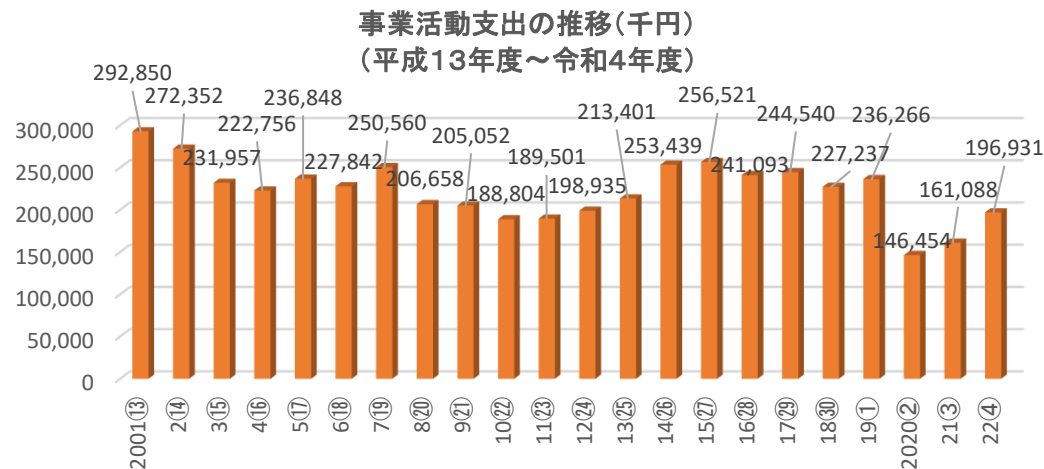
## (2) 事業活動支出と施設管理

### ① 事業活動支出

事業活動支出：196,931千円

(前年度から35,843千円増)

- 事業費→前年度から1,089千円増
- 管理費→人件費926千円増
- 光熱水費→24,068千円の大幅増
- 委託費→抑制しながら3,183千円増
- 租税公課→消費税・法人税等7,506千円の増

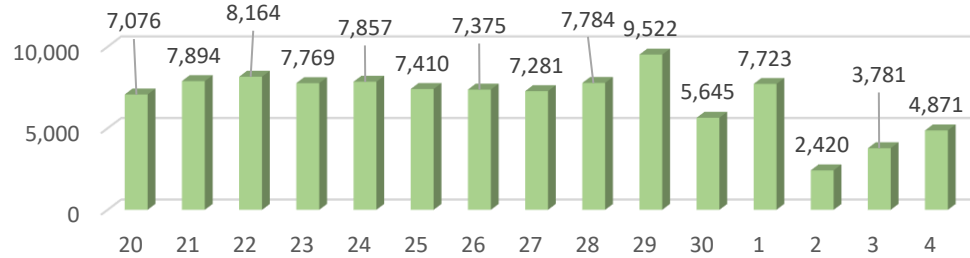




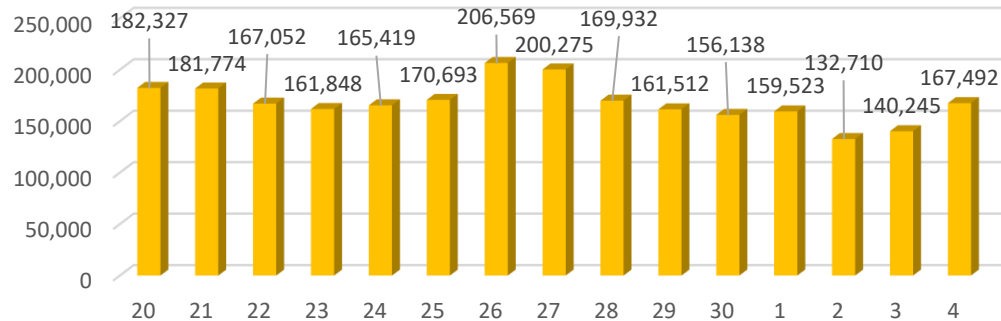
# 3 当期事業活動の内容

## (2) 事業活動支出と施設管理

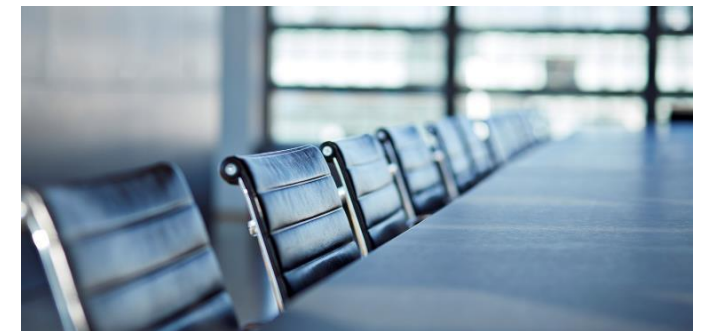
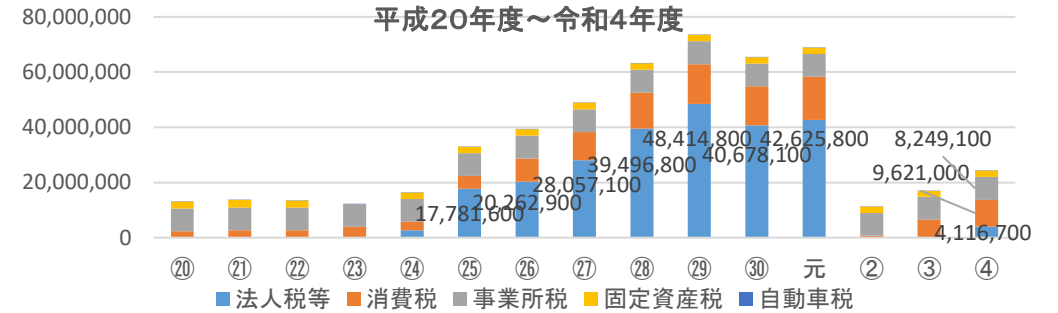
事業活動支出(事業費)の推移(千円)  
平成20年度～令和4年度



事業活動支出(管理費)の推移(千円)  
平成20年度～令和4年度



税額の推移(円)  
平成20年度～令和4年度



# 3 当期事業活動の内容

## (2) 事業活動支出と施設管理

### ② 施設管理

#### 【京都府（設置者）】

- ・ エスカレーターの長寿命化工事
- ・ 電力量計更新工事など
- ・ 総額93百万円を超える積極的な事業実施

#### 【財団（管理者）】

- ・ 稲盛ホール舞台照明設備修理
- ・ 大展示場排煙設備修理
- ・ 空調（吸収冷温水機）コントロールモーター交換修理など

#### 【参考】京都府（設置者）による長寿命化等実施状況

【令和3年度施工事業：4,353千円】

大展示場雨漏り対策工事（2,492千円）

外壁緊急修繕工事（1,861千円）

【令和元年度施工事業：56,847千円】

大展示場吊り天井ボルト等金具補強工事（56,847千円）

【平成30年度施工事業：25,676千円】

大阪北部地震・台風21・24号災害復旧事業（18,790千円）

稲盛ホール吊り天井ボルト等金具補強工事（6,886千円）

# 3 当期事業活動の内容

## (3) 産業・文化の振興と関係機関・地域との連携

### ③ 産業・文化振興事業

(公益目的支出計画の実施)

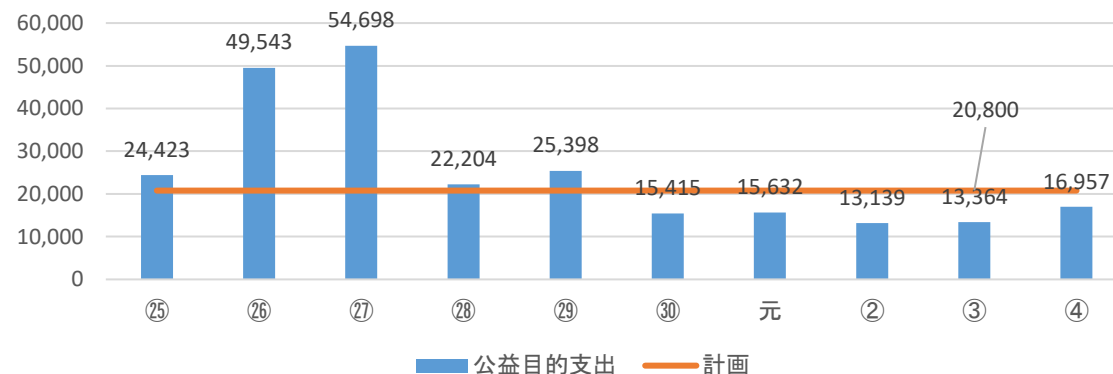
公益目的支出の執行：16,957千円

- ・公益目的支出計画に沿い  
産業・文化の振興に資する事業の実施

#### ▶ 令和4年度末現在の公益目的財産残額

- ・計画値残額765百万円に対し  
実績値残額729百万円
- ・計画値を先行する進捗状況

公益目的支出計画の執行状況(千円)  
(一般財団法人化<sup>25</sup>以降)



#### 【参考】公益目的支出計画

法人が保有する公益目的財産額を公益目的支出によりゼロにする計画  
＜京都府総合見本市会館の公益目的支出計画＞

- ・公益目的財産額 977.6百万円  
(内訳) 流動資産 511百万円 (運用財産)  
固定資産 203百万円 (土地等 駐車場)  
264百万円 (基本財産)
- ・計画年度 2013年4月1日から2060年3月31日まで (47年)
- ・計画単年度当たり平均執行額 約20.8百万円程度

# 3 当期事業活動の内容

## (4) 収支差額（一般正味財産）の確保

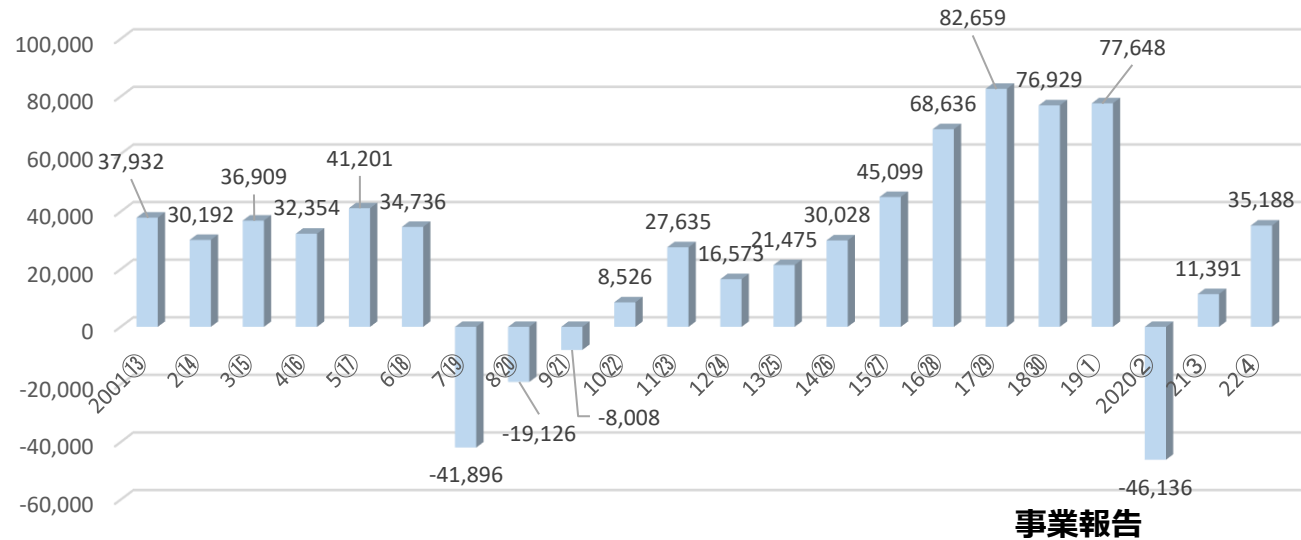
### ▶ 事業活動収支差額

収支差額：35,188千円

(令和3年度11,391千円から  
23,797千円増)



収支差額の推移(千円)  
平成13年度～令和4年度



### 3 当期事業活動の内容

【参考】正味財産（基本財産・運用財産）の現況

	令和4年度末A	令和3年度末B	増減額A－B
指定正味財産(a)	263,770千円	263,770千円	0
一般正味財産(b)	1,224,306千円	1,191,140千円	33,166千円
正味財産(a+b)	1,488,076千円	1,454,910千円	33,166千円

▶ 令和4年度末の一般正味財産（運用財産）の内訳

- 現金預金 781,561千円（うち定期預金647,000千円）
- 投資有価証券（府・商工債）220,000千円
- その他資産（駐車場土地〔330,050千円〕建物等〔2,838千円〕）332,888千円

※上記に 加算：未収金 1,981千円  
減算：流動負債（未払法人税等） 75,427千円  
固定負債（退職給付引当等）36,697千円

## 4 当期主要事業の実施状況

### ▶ 理事会・評議員会・監事監査の実施

#### 令和4年度第1回理事会

(令和4年6月3日・京都パルスプラザ)

- ・ 第1号議案 令和3年度事業報告の件
- ・ 第2号議案 令和3年度決算の件
- ・ 第3号議案 定時評議員会の招集及び決議の件

#### 令和4年度第2回理事会

(令和5年3月16日・京都パルスプラザ)

- ・ 報告事項 令和4年度運営状況（中間報告）
- ・ 第1号議案 令和4年度収支補正予算について
- ・ 第2号議案 令和5年度事業計画について
- ・ 第3号議案 令和5年度収支予算について

#### 定時評議員会

(令和4年6月28日・京都パルスプラザ)

- ・ 報告事項 令和3年度事業報告
- ・ 第1号議案 令和3年度決算の件
- ・ 第2号議案 理事の選任の件
- ・ 第3号議案 評議員の選任の件

#### 監事監査

(令和4年5月27日・京都パルスプラザ)

- ・ 令和4年度事業報告及び決算の審査等



# 5 当期事業活動の実施状況

## (1) 展示会場等利用獲得と拡大の取り組み

### ▶ 利用者ニーズの把握と満足度調査

#### 令和4年度利用者アンケート結果

(91件中60件65.9%回収)

**満足度** → 非常に満足35% 満足48.3%

#### 会場選択理由 →

希望の広さ確保41件 駐車場が無料 27件

希望の日程確保26件 搬出入が便利 22件

希望の立地 19件 料金が手頃 17件

知名度がある 15件 交通の便が良い13件

#### 今後利用予定 →

申込済21.7% 仮予約 31.7%

検討中28.3% 予定なし18.3%

### ▶ 奨励金制度を活かした

#### 新規や拡大利用獲得は過去最高を記録

年度		H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
新規催事誘致等件数		25	25	24	23	26	17	33	10	19	37
	大展・大展+	8	9	8	13	12	8	12	4	11	17
	1展/2展	17	16	16	10	14	9	21	6	8	20
新規催事誘致等奨励による 会場使用料収入	(千円)	19,628	40,756	26,247	38,407	24,547	16,329	47,855	8,228	18,280	30,145
	大展・大展+	13,434	32,268	17,538	34,693	19,990	13,573	33,390	6,872	16,694	22,546
	1展/2展	6,194	8,488	8,709	3,714	4,557	2,756	14,465	1,356	1,586	7,599

【参考】「新規催事誘致等奨励事業」(平成20年度から実施)

- a 初めて展示場利用する催事や過去3年以上開催実績のない催事  
(奨励金：基本会場使用料の10%還元)
- b 利用日数や利用面積の増など利用が拡大した催事  
(奨励金：基本会場使用料増額分の5%還元)

# 5 当期事業活動の実施状況

## (2) 効率的な事業運営と施設の適切な管理

### ▶ 適切な電力・ガス供給事業者との契約による経費の最適化と安定供給

#### ● 電力供給事業者

エフビットコミュニケーションズ（株）（4月～8月）

関西電力（株）（9月～）

【参考】令和元年度：関西電力

令和2年度～令和3年度：F-bit

#### ● ガス供給事業者

関西電力（株）（関電ガス）（4月～12月）

大阪瓦斯（株）（1月～）

【参考】平成30年12月まで：大阪ガス

令和元年度～令和3年度：関電ガス

### ▶ 施設と利用者の安全を確保する防災等危機管理

第1回自衛消防訓練

屋内消火栓操作訓練（12/20）

第2回自衛消防訓練

通報・避難誘導・はしご車救出等訓練（2/3）

# 5 当期事業活動の実施状況

## (2) 効率的な事業運営と施設の適切な管理

---

### ▶ 京都府（設置者）による施設の長寿命化等の実施

- ・ エスカレーター長寿命化（64,768千円）
- ・ 電力量計更新等工事（24,952千円）
- ・ 受変電設備VCB修理点検（1,496千円）
- ・ 太陽光発電計測監視装置更新（418千円）
- ・ 水道メーター取替（449千円）
- ・ 空調機器設置（602千円）
- ・ 駐車場中央フェンス改修（610千円）

### ▶ 財団（管理者）による施設・設備の点検と修繕等の実施

- ・ 稲盛ホール舞台照明設備修理（436千円）
- ・ 大展示場排煙設備修理（176千円）
- ・ 空調（吸収冷温水機）  
コントロールモーター交換修理（123千円）等

# 5 当期事業活動の実施状況

## (3) 産業・文化の振興と関係機関や地域との連携・協力

### ▶ 産業・文化振興事業（公益目的支出計画） の実施

#### 【自主事業】 『京都パルスプラザコンサート』

- ・ 開催日：令和5年2月5日（日）
- ・ 主 催：京都パルスプラザコンサート実行委員会  
（一財）京都府総合見本市会館

目的：地域文化の振興と次代を担う中学生（伏見区）の育成を図る

企業等からの協賛金：楽器運搬等に費消

財団負担：稲盛ホール等無料提供

#### 【令和4年度に中止した共催・協賛事業】

『伏見ふれあいプラザ』『SKYふれあいフェスティバル』  
『京都サンガチケットパートナー』

#### 【共催事業】（負担金支出 計2,100千円）

##### 『京都ものづくりフェア』

（財団：特別協賛 負担金500千円）

- ・ 開催日：令和4年11月5日（土）
- ・ 主 催：京都府・京都府職業能力開発協会など

##### 『京都ビジネス交流フェア』

（財団：共催 負担金1,600千円）

- ・ 開催日：令和5年2月16日（木）17日（金）
- ・ 主 催：京都府・（公財）京都産業21

# 【参考】令和5年度事業計画（令和5年3月）（抜粋）

## 【基本方向】

- 当会館の運営は、景気動向や自然災害、感染症の流行など、社会経済情勢の影響を大きく受け、相関の関係で推移
- 厳しい事態へ適時・的確に対応できるよう、**平時から有事に備え、利益剰余金である（運用財産）の蓄積など、強固な財務基盤を保有する法人経営の構築が重要**
- **会館の最大の価値は、広大な展示会場の保有**
- **会館の価値を最大限に活かし会館機能の発揮が重要**
- **府民の財産の有効活用を図るという観点に立ち、安定した収入の確保と適切な支出の執行**

## 【基本方針】

### 1 入るを量（図）り

「**着実な会館利用の維持・獲得**による事業運営の安定化」を図り、

### 2 出ざるを為（成）す

「**効率・効果的な事業支出の執行と適切な施設管理**による事業運営」を実行しながら、

### 3 収益の確保と公益への還元

生み出される収益を「**産業・文化の振興に資する公益的な事業の実施**と関係機関等との連携」などに活用する。